

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名		看護の統合実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担 当 教 員		松本 幸恵	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》							
これまで学んだ知識・技術・態度を統合し、臨床現場に近い体制の実習を通して医療チームの一員としての役割遂行をめざした看護実践力を高める。また、看護専門職としての役割、責務、態度について学習を深める。							
《成績評価の方法と基準》							
ルーブリック評価表による能力評価【関心・態度】①看護を担うものとして実習に取り組んでいる。②チームにおける看護の実際を理解し、看護チームの一員として自覚と責任を持って行動できる。【思考・判断】①対象の情報と健康上の問題との関連が理解できる②問題の優先順位を判断し問題解決に向けた目標を設定できる【思考・判断】①複数受持ち患者の健康状態や治療・検査等理解し、それぞれの患者の全体像を把握できる。②複数受持ち患者の優先順位や必要な看護を考えることができる。【技能・判断】①受け持ち患者の病棟で立案されている看護計画について実施できる。②受け持ち患者の状態や個性に応じ、根拠・目的方法が説明できる。③優先順位や時間配分を考え安全・安楽に配慮し、看護援助を実施できる。④統合実習を通して、将来看護師として自己の目標を述べることができる。【知識・理解】①チームメンバーの一員としてチームで協働する必要性が理解できる。②病院組織における看護管理や病棟の実際が理解している。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
成人看護学総論、成人看護学各論、老年看護学							
《授業外における学習方法》							
実習オリエンテーション(①実習要項・目標達成シートについて②実習マナー③カンファレンスなど)を実施し、実習準備をする。慢性期における看護について事前学習を行う。							
《履修に当たっての留意点》							
実習要項を熟読し、必要な事前学習をして臨む。							
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	複数の情報収集ができる		所持している教科書・参考書	受け持ち患者の疾患や看護について追加学習	
		各コマにおける授業予定	病棟オリエンテーション、受け持ち患者決定(同意書受領)、看護師に同行し、援助の見学、情報収集				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者の健康上の問題点が明らかにできる		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・一部実施 情報収集・情報整理				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者の健康上の問題点が明らかにできる		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・一部実施 情報収集・情報整理				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者の健康上の問題点が明らかにできる		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・一部実施 情報収集・情報整理・全体像描写、看護計画立案 ケースカンファレンス				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	夜間の看護体制及び看護について理解できる		所持している教科書・参考書	実習記録	
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・看護計画に基づく実施				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者に応じた看護が展開できる。中間評価で自己の現状と課題が明確にできる	所持している教科書・参考書	実習記録 評価表 自己評価
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・看護計画に基づく実施 看護計画修正 中間評価カンファレンス		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者に応じた看護が展開できる	所持している教科書・参考書	実習記録
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・看護計画に基づく実施 看護計画評価・修正		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者に応じた看護が展開できる	所持している教科書・参考書	実習記録
		各コマにおける授業予定	行動計画発表 看護師に同行し、援助の見学・看護計画に基づく実施 看護計画評価・修正		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	受け持ち患者に応じた看護が展開できる。カンファレンスで学びを深めることができる	所持している教科書・参考書	実習記録
		各コマにおける授業予定	看護師に同行し、援助の見学・看護計画に基づく実施 看護計画評価修正 記録整理・提出 最終カンファレンス		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	看護の統合実習について振り返りを行うことができる。	所持している教科書・参考書	実習記録
		各コマにおける授業予定	統合実習の目的、目標、学習内容についてできたこと、できなかったことを根拠をもって文章化する。		